

スキーツアー例会 2012 瀬棚町 カスベ岳～今金町 メップ岳

日時 2012/3/10(土)晴天 ～ 3/11(日)曇り

メンバー L 秋元、小野 M、辻野、長倉

行程

3/10 9:30 道道 677 瀬棚町小倉山地区 C200 で車止めのゲートあり

9:55 出発

11:38 林道、カスベ沢分岐より左岸尾根取りつき

14:00 C720 をテン場として荷物をデポ

15:05 C1049.2 カスベ岳頂上

16:20 テン場に戻りテント設営

21:00 就寝

3/11 8:25 出発

10:14 C1000 スキーをデポしツボ足へ

10:31 C1147.2 メップ岳頂上

13:42 C200 車止めへ到着

今年のツアーは4名のみ参加と少ない人数でしたが、あまり行くことのない道南地区にあらためて良い山域であることを認識しました。

当日は快晴の中、朝の4時半に札幌を出た寝不足気味の面々は重い足取りのまま林道をひた歩く。

カスベ沢分岐は左岸につく作業道を数分進むが、すぐに途切れて植林された急な斜面登りを強いられる。またいだり、くぐったりしているうちに稜線に出たが、すでに汗だく。晴天なのに稜線にあたる風は冷たく、ウェアを着るべきか脱ぐべきか迷いつつ・・・。

予定よりも早くに出発したため、当日中にカスベ頂上に向かうこととし、15時に辿り着く。頂上直下は笹山大斜面。厳冬期には難しい山であろう。すでに多数の切れ込みがあった。雪質はパウダーからクラスト、べた雪と冬から春を感じる難易度の高い状態で、後にM氏は「10年分は横滑りをした。」と雄弁を奮っていた。

この日のテン場で問題が起こった。今晚は自慢の鍋をふるうべく MSR ドラゴンフライの袋を開けた時に判明した。圧力ポンプが入っていない！！どうやら一緒に保管していなかったようだ。手元にあるのはアタック用の110g ガスが2缶。結果的には食事も水も作れたのでよかったが、節約のためにウイスキーを原液で飲み続けたN氏は早々にへべレケとなり、短い夜となった。

11日は午後から天気が崩れるとの予想から朝から行動し、下山してから風が強くなってきた。今回の例会では予定通りの行程をこなすことができ、非常に有意義な時間を過ごすことができた。



テン場からカスベ岳を望む

秋元 健太郎

【山行部から】

リーダーの言葉にあるように、当会があまり実施しない山域での実施で、魅力的な計画であったと思う。道南は高速も延伸し近くなった。積極的に計画したい。残念ながら参加メンバーが少なかったが、報告書からも楽しい山行であったことが十分感じられた。

共同装備の返却については、現状復帰でお願いしたいが、借用者の確認も当然大事。筆者も初冬の富士山でガスボンベを忘れ、ロウソク 1 本での悲惨な晚餐の経験がある。ガスボンベ持参者の計画書読み間違いが原因だった。生死を左右するような装備忘れはあってはならない。慣れが一番いけない。

来年度のスキーツアー例会は多数の参加を願う。